

ひとり1エコ運動の 積み重ねを



行政報告

市議会三月定例会が三月四日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

大館市環境基本計画を策定しました

大館市環境審議会の最終答申を受け、二月八日に大館市環境基本計画を策定しました。

計画策定に当たっては、市民懇話会を十三回、ワーキング部会を三回、環境審議会を六回それぞれ開催したほか、事業者、町内会、関係団体への説明会、さらには市民アンケートなどにより、多くの方々から貴重なご意見、ご提案をいただきました。改めて感謝申し上げます。

この計画は、平成二十二年度を目標年次として、市民、事業者、市が、それぞれなすべきことを定めるとともに、「ひとり一エコ運動」の積み重ねにより、『地球にやさしい快適環境都市 おおだて』の実現を目指すことを基本理念としています。

今後は、計画の周知徹底を図るとともに、計画の実現に向け取り組んでいきます。

経済雇用対策本部を設置

当地域では、今年度中も事業所

閉鎖、リストラの影響などによる



人員整理が進み、ハローワーク大館管内の一月の有効求人倍率は〇・二九倍と、鉱山不況以来の低水準となっていて、市民生活や地域経済に多大な影響を与えています。

また、平成十三年度高校卒業予定者の内定状況を見ますと、一月末の内定率は八四％と、県平均の七〇％よりは高いものの、昨年同期比で十ポイントのダウンです。

そのため、市では、昨年十二月に経済雇用対策本部を設置し、ま

代替用地を選考します

PFI法に基づき、ごみ処理施設の整備計画を進めている大館周辺広域市町村圏組合では、ごみ処理施設の建設予定地周辺の住民代表の方々と協議会を設立し協議を重ねてきました。その結果、事業の必要性や重要性はご理解していただいたものの、一月十五日に行われた協議会で、正式に事業化には反対であるとの意見集約がなされました。

このため、花岡字観音下地内での事業化を断念し、事業用地を変

水田農業経営確立対策

この対策が始まって二年経過しましたが、この間、米の需給は一

た、先月二十八日には第二回対策会議を開催し、厳しい地域経済に対する各種対策とその推進状況について取りまとめました。

平成十四年度当初予算案の中にも、地元雇用拡大のため、新たな緊急雇用対策事業、小学校改築事業や都市計画道路建設事業などを計上しています。リサイクルや健康産業関連企業のさらなる誘致活動などにより、今後とも、地元雇用拡大と地域経済の活性化に全庁を挙げて取り組みます。

大館広域圏ごみ処理施設整備計画

更しなればならない状況となりました。

事業用地を変更して整備をしても、これまで行ってきたPFI法に基づく手続きは有効です。今後は早期に代替用地を選考して、引き続きPFI法に基づく事業として進めていきたいと考えています。なお、今年十二月から完全施行される、ダイオキシン類対策特別措置法には、現有施設である広域第一環境センターを改修、改善することで対応します。

向に改善されていません。そのため、米の生産調整目標面積は、米